

付録4. 地震動予測地図データの公開と利用方法

報告書の文章および図面一式は、地震調査研究推進本部ホームページ (<http://www.jishin.go.jp/>) 上で公開しています(付図4-1)。主な図面については、本書付属CD-ROMに収録しているファイルと同等の、約1km四方の評価対象領域を判別できる分解能をもったPDF形式のファイルなどを提供しています。

また、本報告書に掲載されている評価結果の図面を作成するために用いたデータや計算条件、および作成プロセスについても、「地震ハザードステーション J-SHIS (Japan Seismic Hazard Information Station)」(以下では、「地震ハザードステーション」という)として、(独)防災科学技術研究所のサーバーからインターネットを用いて公開しています(付図4-2、<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>)。

「全国を概観した地震動予測地図」2007年版

「全国を概観した地震動予測地図」2007年版

平成19年(2007年)
地震調査研究推進本部 地震調査委員会

ホーム

1. 確率的地震動予測地図

1.1 概要

1.2 地域別の特徴

1.2.1 北日本地域の特徴

1.2.2 中日本地域の特徴

1.2.3 西日本地域の特徴

1.3 地震の発生確率などの評価

2. 震源断層を特定した地震動予測地図

2.1 概要

2.2 レジド

2.3 これまでに実施した地震動評価

3. 2007年版と2006年版との違いについて

主な図の一覧

付録

1. 用語集

2. 地震発生確率などの評価結果一覧表

3. 2006年版からの計算手法などの変更点

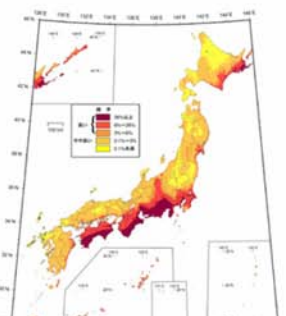
4. 地震動予測地図データの公開と利用方法

ミニコラム

[全国を概観した地震動予測地図に関するFAQ\(2006年版報告書付録\)](#)

[全国を概観した地震動予測地図の更新について\(2007年4月18日\)](#) (PDF 2.207 KB)

[「全国を概観した地震動予測地図」報告書2006年版](#)



今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(平均ケース)
※図をクリックすると大きな図を見ることができます。

発行にあたって

地震調査研究推進本部地震調査委員会は、平成17年3月に「全国を概観した地震動予測地図」報告書を公表し、平成18年9月にこれを2006年版として改訂しました。今回、「全国を概観した地震動予測地図」のうちの「確率的地震動予測地図」について、地震発生確率値の平成19年1月1日時点での更新結果や長期評価の改訂結果等を反映し、見直しを行った結果を2007年版として改訂しました。

なお、初版と2006年版は専門的な内容を中心に報告書として記載しておりましたが、この2007年版では、「全国を概観した地震動予測地図」の概要のみを記載しました。2006年版との変更点については3章に記載しました。また、特定の場所を拡大した地震動予測地図などをご覧になりたい方は「地震ハザードステーション(J-SHIS)」をご覧ください(<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>)。

今回更新された「確率的地震動予測地図」も含め、「全国を概観した地震動予測地図」が、国民の防災意識の向上や効果的な地震防災対策を検討する上での基礎資料として活用されることを期待しております。

なお、本書PDF版および地震動予測地図ポスター(A1サイズ用紙印刷対応)は以下からダウンロードすることができます。

- [「全国を概観した地震動予測地図」2007年版 PDF版](#) (PDF 4,765 KB)
- [「全国を概観した地震動予測地図」2007年版 ポスター](#) (PDF 2,428 KB)

※ファイルの開覧には、アドビ・システムズ社が無償配布する「Acrobat Reader(バージョン5.0およびそれ以降)」または「Adobe Reader」が必要になります。「Acrobat Reader」または「Adobe Reader」の操作方法については、各ソフトウェアのヘルプメニューを参照してください。

※「Acrobat Reader」および「Adobe Reader」は米国のアドビ・システムズ社の登録商標です。

※お使いになるパソコンにインストールされているフォントの種類によって、画面表示および印刷した時に、文字の見え方が異なる場合があります。

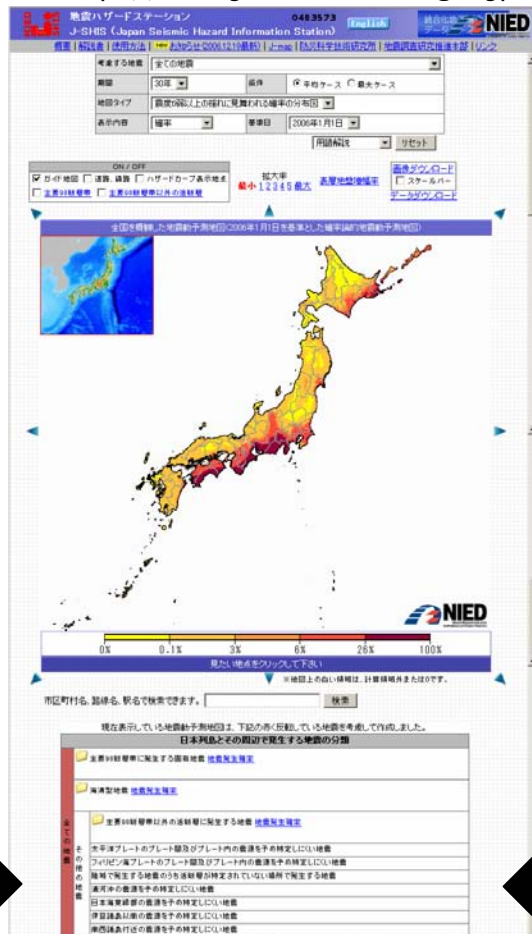
本書に記載した地図の海岸線および県境は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)を複製したものである。(承認番号 平18総機、第1085号)

[このページの先頭へ](#) [次へ](#)

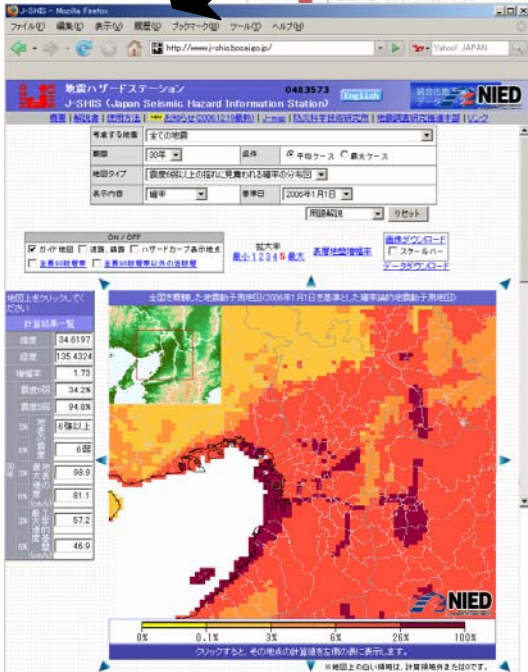
地震調査研究推進本部 地震調査委員会

付図4-1 地震調査研究推進本部HPで公開されている「全国を概観した地震動予測地図」2007年版に関するページ (<http://www.jishin.go.jp/>)

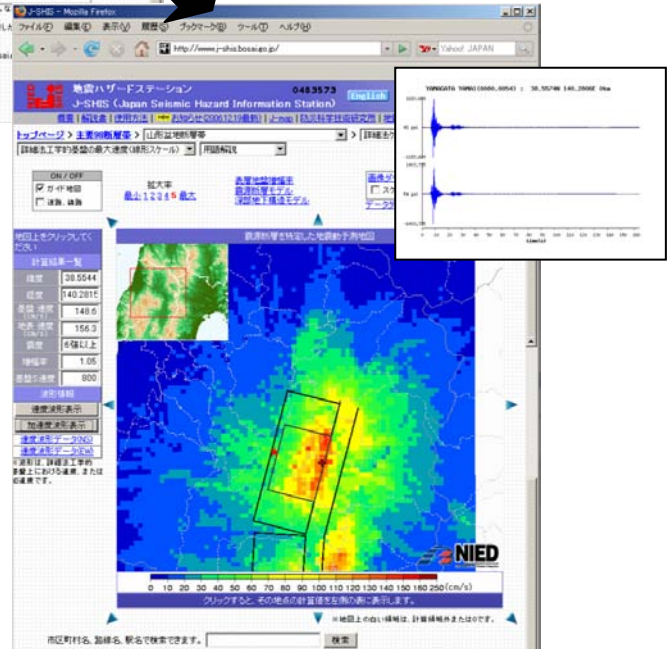
地震ハザードステーショントップページ
(http://www.j-shis.bosai.go.jp)



平均ケースの図はもちろんのこと、
最大ケースの確率論的地震動予測
地図もご覧いただけます。



確率論的地震動予測地図（拡大例）
クリックした地点の計算値が左側の表に
表示される。



震源断層を特定した地震動予測地図
クリックした地点の計算値が左側の表に
表示されるほか、工学的基盤の計算波形を
表示することもできる。

付図 4-2 地震ハザードステーション (http://www.j-shis.bosai.go.jp/) の表示例

CD-ROMの使い方

CD-ROMには本書のPDF形式ファイル、2006年版報告書の文書（分冊1、2も含む全て）、報告書中の一部図の高解像度版を収録しています。

本報告書に記載した地図の海岸線および県境は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間データ基盤）を複製したものです。（承認番号 平18総複、第1085号）

● 利用方法

- ・ ご利用にあたっては、アドビ・システムズ社が無償配布する「Acrobat Reader（バージョン5.0 およびそれ以降）」または「Adobe Reader」が必要になります。
- ・ その他、「Acrobat Reader」または「Adobe Reader」の操作方法については、各ソフトウェアのヘルプメニューを参照してください。

● 注意事項

- ※ お使いになるパソコンにインストールされているフォントの種類によって、画面表示および印刷した時に、文字の見え方が異なる場合があります。
- ※ 本CD-ROMに収録されているデータ等は、著作権法において保護されています。従って、本CD-ROMを賃貸業に使用すること、営利目的に使用することはできません。
- ※ 放送や通信ネットワークで送信・配信することはできません。
- ※ このディスクはCD-ROMです。一般オーディオ用プレイヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。
- ※ 本CD-ROMは、予告なしに変更されることがあります。最新の資料は、地震調査研究推進本部ホームページ(<http://www.jishin.go.jp/>)をご覧ください。
- ※ 「Acrobat Reader」および「Adobe Reader」は米国のアドビ・システムズ社の登録商標です。

CD-ROM 貼付位置

CD-ROMの収録内容

- README.TXT:CD-ROMの使い方
- <2007フォルダ>
REPORT.PDF:「全国を概観した地震動予測地図」 2007年版(本書)
- <REP2006フォルダ>
SHUBUN.PDF:「全国を概観した地震動予測地図報告書(主文)」 2006年版
BUNSATU1.PDF:「全国を概観した地震動予測地図報告書(分冊1)」 2006年版
BUNSATU2.PDF:「全国を概観した地震動予測地図報告書(分冊2)」 2006年版
- <ZUMENフォルダ>
2_4_1.PDF:「浅い地盤構造」による最大速度の増幅率の分布
3_3_1_1.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図
3_3_1_2B.PDF:今後30年以内に震度5弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図
3_3_1_3B.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図
3_3_1_4A.PDF:今後50年以内に5%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図
3_3_1_4B.PDF:今後50年以内に10%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図
3_3_1_4C.PDF:今後50年以内に39%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図
3_3_2_1A.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(主要活断層帯の固有地震のみの場合)
3_3_2_1B.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図(主要活断層帯の固有地震のみの場合)
3_3_2_2A.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(海溝型地震のみの場合)
3_3_2_2B.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図(海溝型地震のみの場合)
3_3_2_3A.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(「その他の地震」)
3_3_2_3B.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図(「その他の地震」)
3_4_1_1.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(北日本地域)
3_4_2_1.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(中日本地域)
3_4_3_1.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(西日本地域)
3_5_1B.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(最大ケース、主要活断層帯のみ)
B1_312B.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図(最大ケース、主要活断層帯のみ)
B1_F2_1.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(連続表現)
Y30S6LMX.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(最大ケース)
Y303PMAX.PDF:今後30年以内に3%の確率で一定の震度以上の揺れに見舞われる領域図(最大ケース)
SABUN07.PNG:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の差分図(2007年版-2006年版、平均ケース)
LEGEND.JPG:確率分布図の凡例
- <A0フォルダ>
AMPA0.PDF:「浅い地盤構造」による最大速度の増幅率の分布(A0サイズ用紙印刷用)
Y30S6LA0.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(A0サイズ用紙印刷用)
Y30S6LMX.PDF:今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(最大ケース、A0サイズ用紙印刷用)

「全国を概観した地震動予測地図」2007年版

発行 2007年5月

編集 地震調査研究推進本部地震調査委員会

(文部科学省研究開発局地震・防災研究課内)

〒100-8959 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

電話 東京 (03)6734-4439 FAX (03)6734-4139

地震調査研究推進本部ホームページ

<http://www.jishin.go.jp/>